



- 1 年頭あいさつ
- 2 医療福祉研修会
東大和市地域自立支援協議会
日本重症心身障害福祉協会
- 3 秋の音楽会
通所成人式
- 4・5 クリスマス会
- 6 部署物語
- 7 マイ・ワールド
- 8 お祝い膳
受賞報告
人事異動

宝船に乗った瓜坊

リハビリテーション科風月グループと海組のみなさんが、職員と一緒に紙をちぎって作りました。幸多き一年でありますように。

2019年 年頭のあいさつ

院長 柳瀬 治

利用者・ご家族の皆様、職員の皆様、あけましておめでとうございます。

今年も当センターは、穏やかな正月を迎えることができました。これもひとえに、年末年始に勤務された職員の皆さん、仕事初めの準備を担当した皆さん、および利用者・ご家族の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。また、昨年は皆様のご尽力とご協力のおかげで、大規模改修の第一段階として、仮設棟への移転を無事成し遂げることができました。ありがとうございました。

昨年暮れの新聞記事に「人生100年 寄り添う看護」というシンポジウムにおけるノンフィクション作家柳田邦男氏の基調講演が載っていました。その中で氏は「2.5人称の視点」というお考えを提唱されていました。

一人称は私、二人称は家族や恋人、三人称は医療関係者らのことです。専門性を持ち、命を客観視する三人称は重要だが、それだけでは乾いた冷たい関係になる。三人称の視点を踏まえながら、一人称、二人称の立場の人に寄り添っていくことが必要である。この「2.5人称の視点」は、あらゆる職種において求められる新しい向き合い方であり、それが実現して初めて日本は、一人ひとりの命や生き方を大切にする国になると思うと述べられています。

このような氏の思いは、障害児者やそのご家族の方々の切なる願いでもあると考えられますし、「最も弱いものをひとりももれなく守る」という守る会の基本理念にも通じるものと思われます。

当センターは今年も仮設棟での運営となりますが、職員の皆さんにはこのような視点があることを心にとどめながら、引き続き当センターに課せられた使命達成に向けて、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2019年が皆様にとりましても、温かく実りある年になるようお祈りいたします。

ご協力ありがとうございました

在宅支援室 医療ソーシャルワーカー 三村さやか

第2回医療福祉研修会「重症心身障害者の意思決定支援」 ～家族と支援者で一緒に考える～

昨年度に引き続き、11月29日に研修会を行いました。ご家族、後見人さん、職員など38名にご参加いただきました。

社会福祉士の三木英子氏をお招きし「子育てを振り返って～治療方針の選択～」についてご自身の経験をお話いただき、西條医師には「重症心身障害者の意思決定支援」についてお話いただきました。

講演後、グループに分かれて懇談を行いました。医療・ケアをどのように選択していくか、看護部・リハビリテーション科・事務部にも協力いただき、ご家族や後見人さんなどと一緒に考えるよい機会となりました。参加できなかった皆様にも、研修の内容をお伝えできるようにします。医療・ケアについて、これからも一緒に考えていきましょう。



東大和市地域自立支援協議会冊子 『あなたにもできる!』

平成28年に『障害者差別解消法』が施行され、障害のある人も障害のない人と同じように生活できるよう、障害者への「合理的配慮の提供」が行政機関に義務づけられました。平成30年10月には『東京都障害者差別解消条例』が施行され、東京都ではさらに「合理的配慮の提供」が行政機関のみでなく民間事業者にも義務づけられました。

外出時に困っていること、どのような工夫や対応があったらよいか、当センターの利用者さん、ご家族、後見人さん、職員にもインタビューにご協力いただきました。東大和市が障害のある人も暮らしやすい町になるよう願っています。まとめた冊子は、東大和市のホームページからダウンロードできます。ぜひご覧ください。



第45回日本重症心身障害福祉協会 東日本施設協議会 参加報告

事務部 用度係 田野倉 仁

11月8日(木)～9日(金)の2日間において、静岡県浜松市で開催された第45回日本重症心身障害福祉協会・東日本施設協議会に参加してきました。およそ100施設180名ほどの参加者で溢れ、当センターからは柳瀬院長、獅子野事務長、桑原看護部長、上丸課務担当係長と私の5人で参加してきました。閉会式では、院長が次回開催の決意を壇上で述べられました。来年は当センターが幹事施設になるため、良い協議会になるようこれから少しずつ準備を進めていきたいと思っております。

2018秋の音楽会 わらべ唄を楽しもう

リハビリテーション科 言語聴覚士 荻原千恵

仮設棟に移転して一か月が過ぎた11月29日(木)、3階集団指導室で秋の音楽会を行いました。今年の音楽会は、今までの発表会形式ではなく、趣向を変えて全員がずっと参加している形式で行いました。病棟の研修生数名と、利用者さんの親御さんが参加して下さいました。

まずは、元気よく名前呼びの歌です。皆さんひとりずつ名前を呼んで、職員と一緒に手を挙げました。挨拶が済んだら、「地球をどンドン」の曲に合わせて、マラカスを振りながら車椅子ダンスをしました。「あぶくたった」では、昔懐かしい遊びに利用者さんも職員も一緒になって楽しむことができました。利用者さんの笑顔を見て、私たち職員もますます楽しく盛り上がりました。最後はみんなで輪になり、「手をつなごう」や「開いた開いた」の歌遊びをしました。

研修生の方が「利用者さんの笑顔を見ることができて、楽しかったです」とおっしゃっていたのが印象深かったです。また来年も、音楽会を楽しみたいと思います。



通所成人式

通所係 指導員 矢野紀子

1月18日(金)、通所内はいつもの場所とは思えない、和風に彩られた成人式会場になりました。通所の先輩利用者さんや来賓の方々がぎゅっと集まったアットホームな雰囲気の中、新成人のHさんをご家族をお迎えして、式が始まりました。Hさんは華やかな振袖姿で、この日のためにと伸ばしてきた髪の毛をアレンジして、一段と大人びた印象に見えました。スライドショーでは、誕生から今日までの様子をお父様から様々なエピソードを交えて話していただきました。

通所からのプレゼントは、お祝いの席で盛大に行われる酒樽の鏡開き。今回はミニサイズの酒樽を用意し、新たな出発に際して幸福を祈願しました。Hさんご家族で懸命に叩くものの、中々割れず何度も叩いていらっしやいました。中から出てきたのは?…お酒ではなくその原料、お米でした! 続いては、通所の仲間で作ったくす玉を、お祝いの言葉とともにみんなで紐を引っ張ってパカッと見事に割り、盛り上がりました。手作り感いっぱい、心温まる和やかな会となりました。



みんなの笑顔が最高のイルミネーション！

第1病棟 指導員 三村英明

今年は、仮設棟に移動して初めてのクリスマス会。例年とはちょっと違った雰囲気の中でのクリスマス会となりました。まずは何も飾られていないクリスマスツリーが登場。そこに『みんなの笑顔が最高のイルミネーション！』ということで、各々の素敵な顔写真を飾り付けていきました。全員の写真が貼り終り、最高のクリスマスツリーが完成したところで、サンタさん登場。クリスマスカードを届けてくれました。

そしてメインイベント、メガネガリノッポスさん（詳細については、ネットで検索してみてください）によるスペシャルライブ（!?）クリスマスソングを中心に、全8曲を演奏して頂きました。ギターデュオの透き通った歌声に、皆さんうっとり。最高の癒しの時間となりました。

最後はスライドショーを見ながら軽食タイム。プチケーキにムースのチキン、注入の方にはジュースを振る舞いました。仮設棟でのクリスマス会、いかがでしたか？



平成最後のクリスマス会～みんなの夢の中～

第2病棟 指導員 関根 努

仮設棟に引っ越してからの初イベント。しかも平成最後ということで、どのような会にしようかと考えました。一週間前からデイルームの装飾をクリスマスモードに変更し、利用者さんも期待に胸を膨らませていました。そして迎えた12月12日（水）、当日『かんぱ～い！』のかけ声で、クリスマス会が始まりました。

最初は職員有志によるギター演奏に合わせて、利用者さんにクリスマスツリーを装飾してもらいました。ティータイムでは、チキン風ムースとツリーの和菓子でおもてなし。とその時、テレビに注目すると利用者さんの映像が…。『みんなの夢の中～』と題して、夢の中で利用者さん一人ひとりが一年を振り返るというビデオを鑑賞しました。自分の顔が映ると、寝顔に恥ずかしそうにしたり、外出した時のことを思い出し嬉しそうにしたりと、映像を見て楽しんでいました。

メインイベントは、手品サークル『羽』の皆さんによるマジックショー。目の前に広がる不思議な世界に、皆さん釘付けでした。途中からは、シルクハット姿の司会者も参加しての楽しいショーでした。

『トントン』何やら外からドアを叩く音が…。お待たせしました、サンタさんとスノーマンが利用者さんにクリスマスカードのプレゼント。メッセージを読みながら、サンタさんと記念撮影。記念写真は、12月25日に写真立てに入れて、利用者の皆さんにプレゼントしました。



盛り沢山で、バラエティー豊かで、アットホーム

第3病棟 指導員 阿部禎夫

12月12日(水)、第3病棟のクリスマス会は、デイルームでおやし職員3名による「サンタが町にやってきた」のギター&ウクレレ&フルート演奏でスタート!! その後も怪しいマジシャンコンビによるちょっとインチキな(?)手品コーナー(魔法の粉を利用者さんがかけてくれたおかげで、棒が空中に浮きました!!)。ボランティアの方による素敵なスティールパン演奏(楽器を鳴らしたり、歌ったりしながら、皆さん一緒に盛り上がりましたね♪)。サンタさんの実況中継によるスライドショー(今年院外活動で行った各地の映像が流れました!!)や、3棟に到着したサンタさんからクリスマスカードのプレゼント(サンタさんの明るく素敵な笑顔のおかげで、元気もプレゼントしてもらいました!!)など、盛り沢山の内容に皆さんとても楽しんでいただけました。

さらにティータイムでは、とっても美味しいクリスマス特製ムースを頂き、12月ならではのスイーツの味わいに、嬉しそうな表情がたくさん見られていましたよ~。

仮設棟での実施で、例年より小規模な会場ながらもバラエティに富んだ内容と皆さんの「盛り上げよう!!」という気持ちから、温かくアットホームな雰囲気の中行うことができました。



アリス・イン・ヨントウランド

第4病棟 保育士 本間久美

12月13日(木)、仮設棟に引っ越して初めてのクリスマス会が開催されました。引っ越した当初ご家族から「建物はきれいだけど、どこを見ても真っ白で迷子になりそう」とお話を伺っていたこともあり、不思議の国のアリスの話がピーン!とひらめき、今回のテーマとなりました。そして裏のテーマは「みんなで作るクリスマス」その名の通り、利用者の皆さんだけでなく職員総出で、アリス・イン・ワンダーランドならぬ、アリス・イン・ヨントウランドの大がかりな飾り付けができました。

今回ご家族の参加はいただけませんでしたでしたが、衣装をまとった職員やそれを盛り上げる職員とともに、利用者さん一人ひとりにスポットをあてたクイズと、ティーパーティを楽しみました。そしてお待ち兼ね、ソプラノ歌手のSayacoさんと杏ふるやさんによる素敵な歌声と演奏に、クリスマスの雰囲気が一気に盛り上がり、利用者さんの笑顔や身体全体でリズムをとり楽しむ姿を、多く見ることができました。

ベッドでの参加の方もいましたが、全員参加することができ、まさしくみんなで作るクリスマスを楽しむことができたように思います。



ぶしょものがたる 部署物語

① 薬剤検査科

以外と知らないお隣の部署…自由に語っていくシリーズ企画

薬剤検査科長 白石範子

当科には、薬剤室・検査室・放射線室の3部門があります。科内職員全員で、利用者さんや患者さんに、安全・安心で効果的な、より質の高い医療サービスを提供できるよう努めています。各室の主査が、夫々紹介します。

薬剤室 仮設棟に移転して約3ヶ月。「仮設棟には薬局がないの?」と思っている方、いらっしやいませんか? 本館1階にあった薬局は、仮設棟では3階にあるのです。目立たない場所に移動しましたが、これまで同様に調剤、医薬品情報提供、医薬品管理等、様々な業務を行っています。主な業務は、利用者さんのお薬の調剤業務です。薬の量や飲み方について、常用量、飲み合わせ、前回と変更がないか等、処方内容をチェックし適正な調剤を心がけています。また、定時薬は病棟スタッフの作業軽減と、利用者さんが確実に服用できるように病棟別と薬カートへ個人別・用法別にセットしています。外来患者さんには院外処方箋を発行しているため、薬局に訪れることも減っていると思いますが、お薬のことで困った時や、保険薬局の案内、検索を行うこともできますので、是非お気軽に声をかけてください。(飯塚憲太)

臨床検査室 臨床検査技師3名で、検体検査と生理検査を実施しています。検体検査は患者さんの血液や尿などの検体を、生理検査は患者さん自身を対象に検査をしています。検体検査は緊急性のある検査項目を院内で検査して、その他の検査は外部委託しています。当センターでは、採血や採尿等の検体採取が困難な患者さんも多いので、院内の検査は少ない検体量でも何とか検査が出来るように努力しています。生理検査は心電図、脳波、誘発電位、呼吸機能、筋電図の検査をしています。落ち着いて検査を受けられるよう、安全面と検査室環境や接遇等に注意して、患者さんの状況に合わせた検査を行うようにしています。(長澤准一)

放射線室 朝、職員通用口から入ると必ず放射線室の前を通られるのではないのでしょうか。放射線室は、仮設棟1階にあります。内部は4室に分かれていて、技師操作通路でつながっています。診療放射線技師2名と補助員1名の3名で業務にあたっています。仮設棟への移動は大掛かりで、10日を費やしました。無事引越しを終えて、ほっとしています。大きな出来事は、老朽化していたCT装置が新装置へと更新されたことです。新しい16列ヘリカルCT装置は、旧装置と同様に絵柄が施してあり、患者さんの緊張を少しでも取り除きたいと配慮されています。また、PACSシステムを導入してフィルムレス化を実現しました。もうフィルムを持ち歩く手間はありません。今後も皆様の協力を得て、安全で安心できる撮影検査業務を実施していきます。(内藤 清)



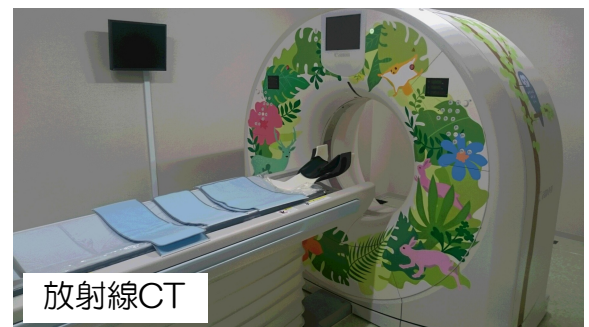
調剤室



検体検査室

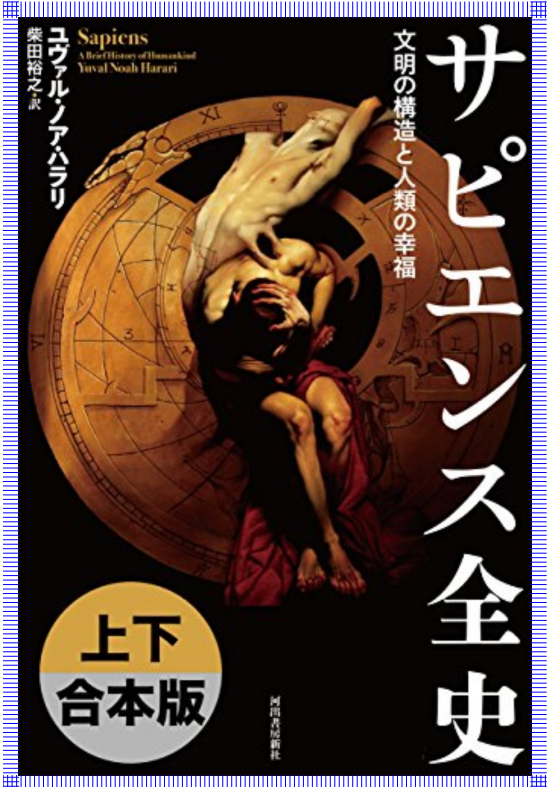


生理検査室



放射線CT

ユヴァル・ノア・ハラリという人物をご存知でしょうか。イスラエル出身の歴史学者で「サピエンス全史-文明の構造と人類の幸福」の著者です。ベストセラーだったようなので、ご存じの方もいらっしゃるかとは思いますが、最近本書を読む機会があったのでご紹介します。本書では、歴史の節目として「認知革命」「農業革命」「科学革命」の3つをあげています。中でも7万年前に始まった認知革命は、歴史が生物学から独立を宣言した時点であり、サピエンス(人)が言葉を使って、想像上の現実を生み出す能力を獲得した重要なものでした。「想像上の現実」と言ってもピンときませんが、現実には存在しないものについての情報・嘘とは異なる「虚構」をさし、これを伝える能力を獲得したことにより、見知らぬ人同士が協力することを可能にしたと述べています。国家や国民、企業や法律、更には宗教やイデオロギーなども「虚構」であると言います。なぜ私達が今の世界に生きているのかを読み解く上で示唆に富み、無味乾燥な世界史の教科書では味わえない人類の歴史を俯瞰することのできる書籍でした。興味を持たれた方は、是非ご一読ください。老眼にも優しい電子ブック版も発売されています。私は電子ブックで読みました。(糀 敏彦)



思うこと 感じること 伝えたいこと

My World

Vol.10

我が家の裏庭には、柚子の木がある。毎年、豊作と不作はあるが、柚子湯だけでは使いきれないので、職場にもお裾分けをしている。近所にも柚子、柿、栗等の木がある。犬との散歩の時に観察すると、収穫している木もあればそのまま放置されている木もある。もったいないと思う。

我が家の周りは、山林である。土石流危険地域でもある。防災のハザードマップでは万が一の時、土石流は我が家の前で止まることになっている。昔々、木材は高く売れたらしいが、今は売れない。我が家の山林も欲しいという人がいたので、無償で譲渡した。周辺の林業は衰退している。車で走行していると、以前はいなかった猪、鹿、リス等にも遭遇する。熊も出没との噂もあり、小学生は熊よけの鈴をつけて通学している。我が家の周りでは、空き家も多い。はっきり言って、過疎化している。(山川敦嗣)



見て楽しい、食べておいしいお祝い膳 **クリスマス・お正月**

栄養科 管理栄養士 高岩美希

クリスマスカラーである赤色で食事が華やかになるように、また楽しく食事を召し上がっていただけるように各々のメニューに、小さなお楽しみを添えて提供させていただきました。チキンは、食べやすいように一口大にカットしたカレー風味で食欲をそそるタンドリーチキンにし、ベルの形をした人参を添えて、ライスはリース型で型抜きした星をのせて、スープにはツリーの形の人参を入れて、サラダには小さなバラの花を作って、食事の時間を楽しんでもらえるよう工夫しました。

オリンピックのエンブレムにも採用された、日本古来の模様である「市松模様」を正月料理の定番である松風焼きで表現しました。おせちの盛り合わせ、雑煮風汁など日本の伝統的正月料理を少しでも楽しんでいただけるように真心を込めて作りました。今年も栄養科一同、皆様喜んで食べていただける食事を一食一食丁寧に作っていきたいと思います。



クリスマス (常食)

クリスマス (ソフト食)

お正月 (常食)

お正月 (ソフト食)

受賞おめでとうございます

第13回医療の質・安全学会学術集会在2018年11月24日(土)～25日(日)に名古屋国際会議場において開催され、当センター看護部から活動報告された「重症心身障害者のベッドからの転落防止策の検討～転落防止チェーンを使用して～」がベストプラクティクス賞(最優秀賞)を受賞されました。おめでとうございます。



編集後記

大規模改修のための引越しが終わりホット一息、仮設棟での生活に少し慣れてきた頃に大忙しの年末年始です。今年が平成最後となり、年号も新しくなる年ですね。仮設棟の白い壁も、季節に合わせて可愛い絵や模様が入り賑やかになってきました。気持ちも和みますね。

仮設棟での毎日の生活を明るく、季節が変わっていくのを感じながら過ごして行けたらいいですね。(S,O)

「干支は何?」と聞かれると、うさぎなどかわいいのがよかったなど、子供の頃は思っていました。「猪突猛進」という言葉を知ってからは、どう捉えたらよいのかと…。うりぼうが流行ってからは、少し嬉しくなりました。移転から3ヶ月が経ち、仮設棟で新しい年を迎えました。仮設棟での生活に慣れた部分もあり、慣れない部分もあり。

皆様にとって、どうぞ穏やかな年になりますように。(ぶじかえるちゃん)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第95号

編集 院内報そよ風編集委員会

発行日 平成31年1月25日

発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10

TEL 042-567-0222